

令和7年度志木市立志木第三小学校 第4回 学校運営協議会議事録

1. 開催日時

令和8年1月23日（金） 10:30～13:00

※10:30～11:15は学校運営協議会委員による授業参観を実施した。

※12:20～13:00は学校運営協議会委員による給食試食を実施した。

2. 会場

志木市立志木第三小学校 ランチルーム

3. 出席者

会 長：宮原 一

委 員：高橋 敏治郎・市川 裕美子・中田 裕規・尾崎 浩代・湯本 恭規
嘉永 秀恒・大賀 香・岡 和香子（志木第三小学校 校長）

事務局：金山 和生（志木第三小学校 教頭）

4. 内容

①開会

②会長挨拶

③校長挨拶

④議事

（1）本校の教育活動について（教頭）

○教頭より説明

- ・10月中旬～1月下旬までの主な学習について説明。

○質疑応答

- ・5年生の金融教育はとても大切な内容だと感じる。次年度以降も継続して行うのか。
→今年度は民間の銀行とコラボして実施した。次年度以降も継続して行う予定。
- ・幼稚園児との交流活動は保護者にも大変好評だった。ぜひ今後も続けてほしい。
→幼保小の連携の観点から非常に大切な活動だと考えている。今後も続けていきたい。
- ・地域との交流を今後も続けてほしい。教員の希望する内容を念頭に新規開拓もしてほしい。
→今年度は地域との交流を増やした。新規開拓を含め、引き続き、地域との交流・地域人材の活用を進めたい。

○授業参観より

- ・高学年の顔つきが変わり、大人っぽくなってきている。最高学年の顔になってきている。1年生は年度当初と比べ、非常に落ち着いてきている。
- ・元気にあいさつをしてくれる子が多い。
- ・教室に掲示されている「目標カード」にしっかり書き込みがしてある。ちゃんと目標を立てており、素晴らしいと思った。
- ・タブレットが活用されている授業もあり、キーボードの活用がとても上手な子が多かった。

- ・紙の辞書を使って調べている子もいて驚いた。
- ・機械に頼り過ぎず、手を使って作業をすることの良さが見直されている。算数の授業で、そのような場面が見られ、とても良い授業だと感じた。
- ・掲示されている児童の作品に個性が見られた。特に墨絵は味わいがあり、感心した。

(2) 令和7年度学校評価について（教頭）

○教頭より説明

- ・学校評価（まとめ）をもとに、全体的な傾向と各項目の増減について説明（R6との比較）

【全体的な傾向】

- ・保護者の評価が大きく向上（ほとんどの項目で向上）
- ・児童の評価はR6と大きく変わらず
- ・教職員評価は若干向上
- ・保護者評価と児童評価は大きくかけ離れていない。

○質疑応答

- ・細かく分析すると、「あてはまらない」という回答が若干増えている項目もある。何か打開できる取組はあるか。
- 教員の連携を密にし、気づいた点にすぐ対応していく必要がある。
- ・前年度との比較をした際のわずかな増減は、誤差とも考えられる。しかしながら、肯定的な意見が7割程度の項目はやはり課題として考えられる。
- ・小中一貫教育に関する項目は、他校とも比較してほしい。
- 今後、他校の結果を共有していく。
- ・小中一貫教育に関しては授業に係る連携だけでは、どうしても保護者には伝わりにくい。合同での取組の種類をもう少し増やし、随時保護者へも知らせるといった取組が必要。
- 今年度は子ども同士の合同の取組は少なかった。今後、ますますそのような機会も増やしていければと考える。
- ・教職員の評価は全体的にとってもよいが、一部の項目については教職員からも不安な点や心配な点を聞き取ってほしい。
- その通りであると考え。聞き取りをしていきたい。
- ・やはり情報開示が難しい項目については、「分からない」という回答も多い。また、授業参観や学校公開等で実際にその場面を見ていない場合には、やはり「分からない」と回答する保護者の方も多いのではないかと思います。
- 発信が少ないものは「分からない」の回答が多かった。発信の工夫を検討していく。

(3) その他（校長）

- ・働き方改革について
- ・志木市学校運営協議会規則の一部を改正する規則について

(4) 事務連絡

- ・今後の予定について

⑤閉会